

針ですが、ご存知のようにロータリーは「分かち合いの心」がテーマです。ロータリーの基本については、自ら進んで参画し奉仕すること。例会に出席し、また一生懸命運営している他のクラブにメイクアップをすること。クラブが行っていることに多く参加すること。我々はロータリーの基本的な目標のために地区チーム内の協力体制を整え、クラブを中心に一体となって協力することが大事です。

会員増強については、各クラブ純増1名、出席率90%以上にもっていくようにと言われました。地区予算は、一人1万5000円で2700名のロータリアンがいますので、約4000万円程度とのことです。

増強と出席率について少しお話しますが、大師のクラブがここ数年で会員を100名にしたそうです。やり方としては、増強委員長をヘッドに増強委員を3班に分けて体制作りをしました。「なぜ増強が必要なのか」ということについては、クラブの活性化はマンパワーと資金がなければできないということで理解いただいたそうです。

勧誘時の入会セットは、RCへの誘い、会員名簿、ロータリーの友です。全員に候補者を出させたところ、200数名の候補者があがったそうで、ベテラン会員と相談して、誰が誰を勧誘するかを決め、また夜間例会に招待してRCを理解してもらったとのことです。今後の問題としては、新会員より退会者を出さない教育をどうするか、出席率の低さをどう改善していくか、新会員とベテラン会員との融合の問題などが出ているそうです。簡単ですが、これで終わりにします。

#### 次期幹事 服部会員

幹事の任務は25項目ありますが、抜粋してご報告いたします。1番目は会員登録の整理をしっかりと、2番目は出席の記録をしっかりとっておく、3番目は理事会の通知および事業の記録をしっかりと作成する、4番目は理事会の決定事項を会員に必ず伝えるということです。会員登録については、しっかりと会員を把握しなさいということだと思います。出席については、今日は何名出席しているか、最低80

%以上かを把握するという事です。一番大事なことは会員増強ですが、増強よりもやめさせないように皆さんでやってくださいと言われました。これから幹事をやらせていただきますが、連絡ミスもあるかと思えます。皆さんのご協力を得てやっていきたいと思えますので、よろしく願いいたします。



#### 次期クラブ奉仕委員長 田内会員

パンフレットには大きな課題が8つくらいありますが、私なりに読み上げさせていただきます。①誇りと楽しさ②ロータリーとは何かを顧みる③前例手続き、単なる伝統とした官僚化からの脱却④ロータリーの企画を通じ知人友人を増やす⑤地区の交わりでコミュニケーションを図る⑥財団の寄付は会員平均120ドル⑦米山記念奨学会の普通寄付は5000円、特別寄付は2万円で協力をお願いする⑧会員増強、の8点です。

初めに岡本パストガバナーの話をお伝えします。まずロータリークラブの要は多様性、前例主義の廃止があげられます。例えば、ロータリーソングのみにとらわれず、昔の思い出の歌を歌う。違った価値観を取り入れるようにする。女性・新人等の新入会員の大幅入会を求めるには、魅力あるクラブにするよう心がける。例会日や時間の変更を考えてもよいのではないかと、などです。増強問題では、財団・学友会の方が将来入会していただけるよう努力してほしい。最後に、ロータリーは自分を磨く場所という認識でお願いしたいとのことでした。

サブリーダーの方からは、クラブ奉仕と親睦活動に